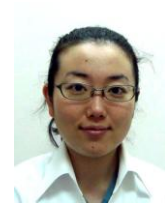


## 森田 道



### 【経歴】

- 2002年 長崎大学医学部入学  
地元が長崎、一人っ子でもあり、長崎を離れることはあまり考えなかった。
- 同年 祖母が胃がんで手術を受ける(なんと長崎大学第二外科)。  
付添で観察室に泊まる。  
翌朝早く、病棟回診に来た疾患グループの先生方の姿に惹かれる。  
(ただ、当時は外科という選択肢があるなんて、ちっとも考えていなかった)
- 2006年 医学部5年生、臨床実習。  
胃がんの手術を目の当たりにし、内科志望が揺らぐ。  
消化器外科の道も考え始める。
- 2007年 医学部6年生、高次臨床実習でも外科を選ぶ。  
当時は入学当初から志した呼吸器・感染症内科か、実習で目覚めた外科かで悩む。
- 2008年 長崎大学病院群で初期臨床研修開始。  
大学進学の時同様、長崎を離れることは考えず。  
外科に進むことも考えていたので、症例経験のためもちろん心臓血管外科も選択。  
(1年目：呼内→循内→消内→消外→心外→麻酔)  
(2年目：地域→産婦→小児→外科→麻酔→神経内科)  
↑外科入局を想定し、外科・麻酔科を長めに選択。  
これからでもチャンスがあれば整形・形成・病理は勉強したい。  
(回ればよかった！ということ)  
\*心外をローテートした1年目の冬、やはり手術がしたい！と外科入局を決心\*
- 2010年 長崎大学移植・消化器外科入局。  
臨床実習で外科の面白さを教えてもらった医局にまよわず入局。  
消化器外科に惹かれて入局した私も、外科医としてのスタートは乳腺内分泌班。  
こんな世界もあるのかと、コロンブスが新大陸を発見したくらいの驚きを得る。

2011年 関連病院にて手術・臨床の鍛練中。  
のんびり屋なりに、一步一步を大事にすすんでいくよう心掛けて努力中。

**【今後の展望】**

コロンブスが新大陸を発見してしまったので、このまま乳腺内分泌をやっていきたい！と思っています。実際の現場でも「女の先生でよかった！不安がいっぱいだったのよ！ほら、胸のことだから男性にはなかなかねえ・・・」などと患者さんに言われると、やっぱりそうかな～、女性のほうがいいよな～、と考えたりします。